

electro-harmonix

KEY9

Electric Piano Machine

Electro-Harmonix KEY9 Electric Piano Machineをご購入いただきありがとうございます。KEY9は、お手持ちのギターやキーボードのサウンドを、クラシックなローズやウーリッツァーといったエレクトリックピアノのシミュレーションサウンドに変換します。その他にも、ヴィブラフォンやマリimba、オルガン、そしてスティールドラムのサウンドさえも再現出来るのです！人気を博しているEHXのB9やC9をベースに、DRYコントロールやKEYコントロールの音量設定次第でエレクトリックとアコースティックのサウンドの間を行ったり来たりすることが可能で、またCTRL1とCTRL2のコントロールでプリセットサウンドを微調整することも出来ます。

注意：KEY9はElectro-HarmonixのJP9,6DC-200 ACアダプターが付属しています(実際にKEY9が消費するのは、100mA at 9VDCセンターマイナス プラグとなります)。上記以外の、誤ったACアダプターの使用は故障や事故の原因となります。また、誤ったACアダプターの使用が原因での故障については保証対象外となりますのでご注意ください。

使用方法について：

まず、付属のACアダプターを本体の電源ジャックに接続します。それから、楽器側のケーブルを本体のINPUTジャックに差し込みます。アンプ側のケーブルを本体のKEYS OUTPUTジャックに差し込みます。DRYコントロールを最小の位置にし、その他のコントロールを12時の位置にセットします。次に、プリセットコントロールで1. DYNAMO を選択し、フットスイッチをONにしてLEDを点灯させます。楽器を演奏しながら、お好みのサウンドになるようコントロール類を調整します。

DRY VOL(ボリューム)コントロール：

KEYS OUTPUTジャックから出力される原音(DRY音)の音量を設定します。

KEYS VOL(ボリューム)コントロール：

KEYSプリセット(エフェクト音)の音量を設定します。

CTRL 1 & CTRL 2コントロール：

次のページで詳述のプリセットについての説明をご参照下さい。

BYPASS(バイパス)フットスイッチ：

本体下部のトグルスイッチでエフェクトのON/OFF(バッファードバイパス)を切り替えます。本体中央のステータスLEDはエフェクトON時のみ点灯します。

DRY OUTPUT(アウトプット)ジャック：

バッファ回路を通ったDRY(ドライ)信号を出力します。DRY信号はKEY9のエフェクトのON/OFF(バッファードバイパス)に関係なく出力されます。

KEYS OUTPUT(アウトプット)ジャック：

DRY信号とKEYS VOLコントロールによって設定されたエフェクト信号のミックスを出力します。

プリセットについて

1. **DYNAMO(ダイナモ)** - 1970年～80年代の、モディファイされたフェンダーローズ"Dyno My"を想起させるサウンドです。CTRL 1はギターの高音弦のサウンドにベース(低域)を加えます。CTRL 2はハイエンドの倍音に鋭さを加えます。
2. **WURLI(ウーリ)** - クラシックな、ウーリツァー・エレクトリックピアノのサウンドです。CTRL 1はトレモロの深さを調節します。CTRL 2はトレモロのスピードを調節します。
3. **SUITCASE(スーツケース)** - フェイズシフターを通した、フェンダーローズ・エレクトリックピアノのトリビュート・サウンドです。CTRL 1は低音の倍音を加え、ハイエンドの倍音や鋭さを調節します。CTRL 2はフェイズシフターのスピードを調節します。
4. **MALLETS (マレッツ)** - 木製マリンバのサウンドです。CTRL 1はコーラスの深さを調節します。CTRL 2はコーラスのスピードを調節します。
5. **EIGHTY EIGHT(エイティ・エイト)** - トレモロを搭載した、フェンダーローズ 88をシミュレートしたサウンドです。CTRL 1はトレモロの深さを調節します。CTRL 2はトレモロのスピードを調節します。
6. **TRI-GLORIOUS(トライ・グロリアス)** - Dytronics/Dyno My CS-5 Tri Stereo Chorusのサウンドです。CTRL 1はコーラスの深さを調節します。CTRL 2はコーラスのスピードを調節します。
7. **VIBES(ヴァイブス)** - 電動モーター式トレモロが付いた、金属製ヴィブラフォンのサウンドです。CTRL 1は高音のアタックを調節します。CTRL 2はトレモロのスピードを調節します。
8. **ORGAN(オルガン)** - タッチレスポンスの良い、パーカッシブなオルガンサウンドです。CTRL 1は高域(トレブル)を調節します。CTRL 2はロータリースピーカーのスピードを調節します。
9. **STEEL DRUMS(スチールドラム)** - スチールドラムの金属的なサウンドをシミュレートしています。CTRL 1はコーラスの深さを調節します。CTRL 2はコーラスのスピードを調節します。

プリセットのサンプルセッティング

このマニュアルの後方のページに、それぞれのプリセットに対してどのようにそれぞれのコントロールを設定したら良いかを示した、サンプルセッティングが掲載されています。また、ユーザーセッティングを書き込める空欄のセッティング表も掲載しています。ユーザーセッティングのページをコピーして、好みのサウンドになるセッティングを書き込んで保存しておくとも良いでしょう。また、以下のページからPDFファイルをダウンロードすることもできます：

http://www.kcmusic.jp/ehx/manual/key9_jp.pdf

注意点と仕様について：





































- ・バッファードバイパス
- ・入力インピーダンス：1M Ω
- ・出力インピーダンス(両アウトジャックとも)：500 Ω
- ・消費電流：100mA

(掲載されている全ての商標の権利は、それぞれの所有者に帰属しています)

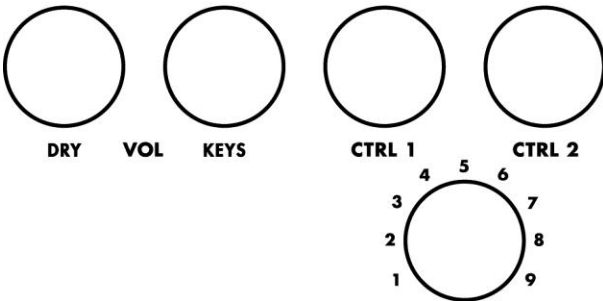
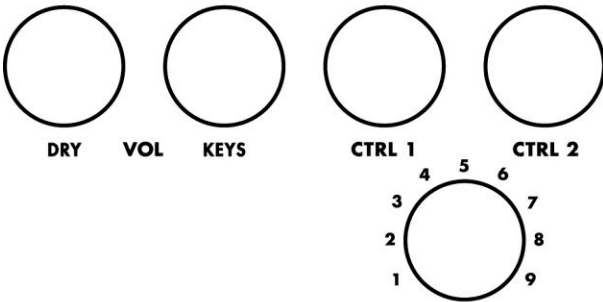
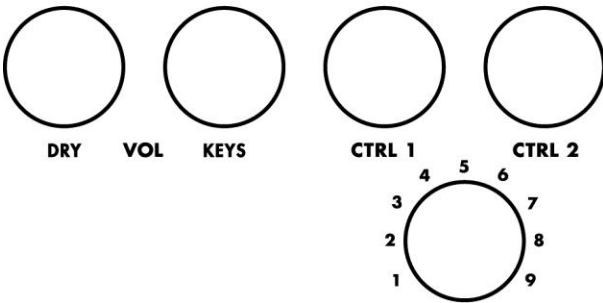
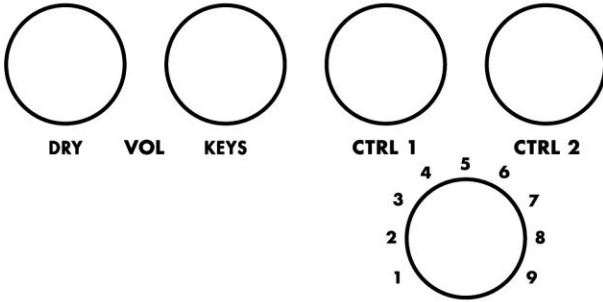
KEY9を最大限活用するためのヒント

1. KEY9は、通常の場合エフェクトチェーンの最初に持ってくるのが最適な接続方法です。モジュレーション/ディレイ/リバーブ系のエフェクターはKEY9の後に接続して下さい。なお、KEY9はギターアンプのエフェクトループ内に接続すると本来の機能を発揮できませんのでご注意ください。
2. KEY9をギターで使用する場合は、リアピックアップを使用したほうが良いサウンドが得られます(プリセットによっては、フロントピックアップでも良いサウンドが得られることもあります)。ピックアップの出力が弱い場合、KEY9の前にクリーンブーストやコンプレッサーを接続すると出力が改善されます。なお、KEY9の前にディストーションやオーバードライブを接続することは避けて下さい。入力信号が濁り、トラッキングが不安定になります。歪み系を使用する場合は、KEY9の後に接続して下さい。
3. ギターアンプによっては、一定でなくピーキーな音域のレスポンスによって、過剰に音量がブーストされることがあります。そのような場合は、KEY9の前または後にコンプレッサーを接続して、"ピーキーさ"を抑えて下さい。
4. KEY9の上側の帯域は、VIBESやMALLETTSといったプリセットサウンドを使用する場合は制限されます。それはシミュレートする楽器本来の音質がパーカッシブであることによるもので、演奏される音が高くなるにつれて倍音は減っていきます。ギターの場合、それらのプリセットを選択した際の有効な音域は、1弦の15フレットまでとなります。それ以上になるとアタックの倍音が高くなり過ぎてしまい、アタック音しか残らなくなってしまいます。例えばピアノのトップノートを思い浮かべて頂きたいのですが、聞こえてくるのはハンマーノイズとしてのアタック音だけになります。
5. KEY9は追従性が素晴らしく、どのように演奏しても大丈夫ですが、ギターを使用してあまりはっきりしない演奏をすると、KEY9を通したサウンドもはっきりしないエレクトリックピアノ奏者のようなサウンドになってしまいます。例えば、ギターの弦をチョーキングすると、KEY9も同じく音をバンドします。しかし、エレクトリックピアノではベンディングはしませんので、より本来の楽器に近いサウンドを出したければ、チョーキングを全くしないか、なるべくしないようにして下さい。

KEY9 サンプルセッティング

PRESET	CTRL 1		CTRL 2	
1. DYNAMO				
	DRY	VOL	KEYS	BASS
2. WURLI				
	DRY	VOL	KEYS	TREM DEPTH
3. SUITCASE				
	DRY	VOL	KEYS	BASS/TINE
4. MALLETS				
	DRY	VOL	KEYS	CHORUS DEPTH
5. EIGHTY EIGHT				
	DRY	VOL	KEYS	BASS/TINE
6. TRI-GLORIOUS				
	DRY	VOL	KEYS	CHORUS DEPTH
7. VIBES				
	DRY	VOL	KEYS	ATTACK
8. ORGAN				
	DRY	VOL	KEYS	TREBLE
9. STEEL DRUMS				
	DRY	VOL	KEYS	CHORUS DEPTH

KEY9 ユーザーセッティング





正規輸入代理店

株式会社 キョーリツコーポレーション

カスタマーサポート

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-9-11
NEWS日本橋堀留町ビル 10F

TEL : 03-5614-4133 FAX : 03-5614-2166

E-MAIL : support@kcmusic.jp